

八剣山通信

2010 年 9 月 27 日発行
八剣山発見隊

第 21 回 みすまい通行屋まつりに参加

【行事の概要】

9月26日(日)午前10時から、みすまい通行屋緑地公園において「第21回みすまい通行屋まつり」が開催され、八剣山発見隊では隊の応援企画として農産物販売ブースのお手伝いで参加しました。



砥山農業クラブの販売ブース

主催者の推定で約2,000人の地元住民と市民が訪れ、歌や踊りのステージショー、各販売ブースでの買い物など、秋の一日を楽しみました。砥山農業クラブの販売ブースでは今が旬のリンゴやブドウが人気を集め、会場内で家族が分け合って食べる光景も見受けられました。砥山地区が札幌の「果物の里」として広く市民に親しまれている証ともいえるでしょう。



旧簾舞通行屋(旧黒岩家住宅)

簾舞通行屋

前年に開通した(旧)本願寺道路の宿場にするため、開拓使により1872年(明治5年)1月に建てられた。場所は現在の簾舞中学校の付近で、今は国道230号が通る箇所とされる。当時の政府の命を受けて屋守となった九州出身の黒岩清五郎は、この辺りの最初の日本人定住者として、通行人に宿を提供しつつ周辺の開拓に取り組んだ。本願寺道路の交通量の関係から通行屋は1884年(明治17年)に廃止された。

黒岩家住宅

明治19年に新しく有珠街道(註:元来、本願寺道路の新道として開削され、後に国道230号となり、現在は同国道の旧道となっている。)が開通すると、黒岩家はこの街道沿いに旧屋部分を移設再築し、さらに馬小屋部分を含めて新屋部分を増築した。玄関口が二箇所あるのはそのためである。



旧黒岩家住宅

黒岩家はこの居家で引き続き宿屋を営みつつ農業に従事した。この家は地域の中心として、役所の出先機関、学校、寄り合い場所にも利用された。1982年(昭和57年)に黒岩家は移転し、昭和59年に札幌市が譲り受けた。現在の建物は、通行屋であった旧棟(左半分)と新棟(右半分)からできている。新棟は、馬小屋や納屋など当時の開拓農家の様子と簾舞の歴史資料が展示されており、郷土資料館として一般公開されている。また、当時庭として利用していた、家屋西側の広い敷地も同市に寄付され、公園として活用されている。(資料:一部 Wikipedia からの抜粋)

通行屋まつりと旧簾舞通行屋のスナッフ



開会式での来賓ご紹介



オープニングは簾舞小スクールバンド



簾舞幼稚園児と大勢の観客



ハイレベルの演奏を披露した簾舞中ジャズバンド



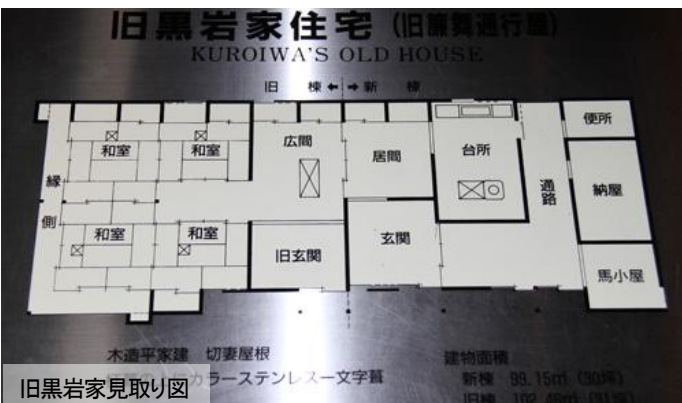
各販売ブース



旧黒岩家台所の展示



旧黒岩家和室



発見隊今後の行事予定

- 10月上旬 カップバスガイド(応援企画)
- 10月10日 ウェスタン・カーニバル&収穫祭(応援企画)
- 10月17日 農業小学校(応援企画)

発行: 八剣山発見隊(事務局長 瀬戸修一)

〒061-2275 札幌市南区砥山 84 番地

☎・FAX 011-596-2694

E-mail toyamafureai@gol.com

URL <http://hakkenzan.com/>